

青谷町総合支所「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗チェック状況

項目名	事業概要	目標 【基本計画・施策】	R4年度(実績)				R5年度(進捗)				備考	担当課				
			実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標達成度	事業の方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)				目標達成度	事業の方向性	
①地域コミュニティの増進、活力のあるまちづくり	①青谷地区を中心としたコンパクトなまちづくりを進め、憩いや賑わいの空間を創出する。	地域生活拠点の整備 【生活基盤の充実】 【工業の振興】	-	-	-	-	-	-	-	-	-	R元年度で完了 青谷ようこそ広場	都市企画課 青谷町総合支所	1	産	
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	R元年度で完了 JR青谷駅前整備	都市企画課 青谷町総合支所	2	産
			鳥取市に立地したいという企業の情報がなかったため未実施	-	-	C.未達成	3.現状維持	鳥取市に立地したいという企業の情報があれば、企業立地・支援課と連携をとりながら工業団地設置における諸課題や候補地の検討等を実施 →現時点で青谷町内への企業立地の情報なし	-	-	-	-	-	企業立地・支援課 青谷町総合支所	3	産
	②全体的に人口が減少し高齢化が進む状況の中、各地区公民館は地区の特性を活かした事業に取り組んでいく。	地域活性化イベントの再構築 【協働のまちづくりの推進】	伝統産業である因州和紙の産地強化と青谷町の賑わい創出を目的とした定期的イベント開催及び青谷上寺地遺跡の利活用を推進する事業の支援 【青谷因州和紙産地強化事業】 ・因州和紙フェスタ&ひおき収穫祭(11月)は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止したが、とっとり弥生の王国青谷かみじちフェスタに参加した。 ・手すき和紙保存事業でトロアオイ、こうぞ栽培への支援 ・和紙PR事業ですくすく保育園園児の作品を道の駅に展示 【青谷ようこそ市場事業】 ・青谷ようこそ市場(3回開催予定)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2回中止したが、10/23 青谷ようこそ館前広場で開催(来場者約400人) ・あおいちギャラリー(9/3~25、入場者721人) ・あおいちイルミネーション(12/15~1/15) 【青谷上寺地遺跡利活用推進事業】 ・とっとり弥生の王国青谷かみじちフェスタ(11/13、来場者約1,800人) ・青谷かみじちスタンプラリー(11/6~11/27、参加者124人) ・青谷かみじち史跡公園オープンに向けて、まちのにぎわいづくりを考えるつどい 第1回 9/25開催 31人 第2回 2/4開催 24人	2,850	1,969	C.未達成	3.現状維持	伝統産業である因州和紙の産地強化と青谷町の賑わい創出を目的とした定期的イベント開催及び青谷上寺地遺跡の利活用を推進する事業の支援 【青谷因州和紙産地強化事業】 ・青谷和紙工房で和紙ドーム・和紙オブジェの制作、日置地区納涼祭で展示 ・手すき和紙保存事業でトロアオイ、こうぞ栽培への支援 ・和紙PR事業の実施 8/13道の駅気楽里 10/7イオンモール鳥取北店 【青谷ようこそ市場事業】 ・青谷ようこそ市場(2回開催予定)は、大雨により1回中止、9/17青谷支所前で開催(来場者約400人) ・あおいちギャラリー(10/21~11/5、入場者685人) ・あおいちイルミネーション(12/15~1/15) 【青谷上寺地遺跡利活用推進事業】 ・とっとり弥生の王国青谷かみじちフェスタ(11/23、入場者およそ2,500人) ・青谷かみじちスタンプラリー(11/11~12/3) ・青谷かみじち史跡公園オープンに向けて、まちのにぎわいづくりを進めるつどい(第1回10/7、地域づくり団体・個人20人参加 第2回2月予定)	2,850	-	-	-	-	青谷町総合支所	4	地
			・地域活性化推進事業を通じて地域活動団体「青谷地域づくり連絡協議会(8団体)」を支援： 因州和紙活用活動、環境美化活動、鳴り砂保全活動、青谷上寺地遺跡学習活動、ふるさとPR活動、長尾鼻自然保全活動、青谷町物産販売促進活動、青谷の魅力発掘活動、観光促進活動を実施	1,130	1,119	A.達成	2.改善継続	・地域活性化推進事業を通じて地域活動団体「青谷地域づくり連絡協議会(7団体)」を支援： 因州和紙活用活動、美化活動、鳴り砂保全活動、青谷上寺地遺跡学習活動、青谷町物産販売促進活動、青谷の魅力発掘活動、観光促進活動を実施 ・各地区のまちづくり協議会組織体制の確認及び課題の把握、情報交換	1,130	-	-	-	-	協働推進課 青谷町総合支所	5	地
			①「卓球のまち青谷」の復活 【スポーツ・レクリエーションの振興】	「卓球のまちづくり」の推進 ・卓球大会の協力 ・体育協会青谷町支部主催で、「青谷上寺朗杯卓球大会」を12月4日に開催した。(参加者:56名) ・第8回青谷オープン卓球大会の開催支援(11/5,6)は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	400	3	C.未達成	2.改善継続	「卓球のまちづくり」の推進 ・卓球大会の協力 ・体育協会青谷町支部主催で、「青谷上寺朗杯卓球大会」を12月3日に開催予定。 ・+青谷高校卓球部員及びOBによる卓球教室開催協力 ・実行委員会主催で、「青谷オープン卓球2023」を11月4・5日に開催した。(参加:男子10チーム、女子7チーム合計133人) ・+第8回青谷オープン卓球大会の開催支援(11/4、5)	400	-	-	-	-	青谷町総合支所	6
	③青谷高等学校は、特色のある取組や地域との繋がりが強化に取り組む。	【教育の充実・郷土愛の醸成】	②については(※青谷高等学校カリキュラム見直し等により推進計画施策から削除する。)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	削除	青谷町総合支所	7	
			②国際交流事業の継続・拡大 ②地域住民と連携した「青谷学」課題探究取組の推進 ③保育所、小中高との連携強化	地域と連携した青谷高等学校の魅力づくりの取組の協力・支援 ・「青谷高等学校の活性化を支援する会」「青谷地域賑わい創出実行委員会」と連携し、青谷学、地域課題探究の支援 ・9/15高校生たっぴ、10/4、11、18、11/1青谷学Ⅱ(伯耆街道をゆく~青谷編~)の実施協力 ・2/7「活性化を支援する会」の活動協議	-	-	B.概ね達成	3.現状維持	地域と連携した青谷高等学校の魅力づくりの取組の協力・支援 ・「青谷高等学校の活性化を支援する会」「青谷地域賑わい創出実行委員会」と連携し、青谷学、地域課題探究の支援	-	-	-	-	青谷町総合支所	8	地
			青谷上寺地遺跡を活かした「弥生文化探究」カリキュラム創設による考古学を打ち出した青谷高等学校の魅力化を推進する。 令和5年度から県外から青谷高等学校に入学し、青谷上寺地遺跡等を活用した地域学習を履修する生徒に対して支援をすることとした。 ※第16回全国高校生歴史フォーラムで佳作受賞	-	-	B.概ね達成	4.現状維持	青谷上寺地遺跡を活かした「弥生文化探究」カリキュラム創設による考古学を打ち出した青谷高等学校の魅力化を推進する。 令和5年度から県外から青谷高等学校に入学し、青谷上寺地遺跡等を活用した地域学習を履修する生徒に対して支援をすることとした。 【鳥取市青谷上寺地遺跡地域学習環境整備補助金】	360	-	-	-	-	青谷町総合支所	9	地
			③については(※青谷中学校区創造学校運営協議会が主体になり恒常的な運営となるため、推進計画施策から削除する。)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	削除	青谷町総合支所	10

青谷町総合支所「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗チェック状況

項目名	事業概要	目標 【基本計画・施策】	R4年度(実績)				R5年度(進捗)				備考	担当課			
			実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)				目標 達成度	事業の 方向性
②地域資源の有効活用による、 魅力あるまちづくり	①歴史的資源・自然的資源・農産物を含む地場産業・文化的資源などを道の駅を核として有効活用した取組を進めることが、中山間地域対策に重要であり、住民が誇れるまち・魅力あるまちをめざし交流人口の拡大を図る。	地場産業の育成 【農林水産業の振興成長産業化】	市民活動を通し、県外へ特産物の販売・PR及び企業等に販路拡大 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業を中止 ・池田市ダイハツ工業生活協同組合との特産物販売を継続。 青谷ようこそ館を通じて二十世紀梨396箱を販売	-	-	C.未達	3.現状維持	市民活動を通し、県外へ特産物の販売・PR及び企業等に販路拡大 ・コロナ禍で中止となっていた池田市との交流事業の再開を目指す。 ⇒池田市からの交流再開についての話しは現時点ではなし 交流事業の中心となる青谷ようこそ館側は、人員確保で苦慮しており、交流事業 ができる体制ではない模様 ・池田市ダイハツ工業生活協同組合との特産物販売を継続 ⇒青谷ようこそ館を通じて二十世紀梨407箱を販売 ・かちべ伝承館に特産品の開発を依頼中	-	-	-	-	経済・雇用戦略課 農業振興課 青谷町総合支所	11 12	産
			鳥取県漁協が、令和4年度も漁協青谷支所(長和瀬)1名、夏泊支所1名、計2名の就業研修を継続実施。	-	-	C.未達	3.現状維持	就業研修等への支援の継続 ⇒現時点で支援の問い合わせなし 研修生は青谷支所(長和瀬)1名(いか・刺し網等)、夏泊支所2名(定置網漁)の計3名	-	-	-	-	林務水産課 農業振興課 農業委員会 青谷町総合支所	13	産
			「あおいち」イベントを夏泊漁港で開催 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	-	-	C.未達	3.現状維持	コロナ禍で中止となっている朝市の再開、「あおいち」との共催イベント再開へ向けて、県漁協、夏泊支所と協議。 ⇒R5.5.13～10.28まで計9回朝市を開催 このうちR5.7.8開催分については、あおいちと共催(大雨で中止) 来年度も朝市が開催できるよう、県漁協と協議中	-	-	-	-	林務水産課 青谷町総合支所	14	産地
			観光ガイド体制を確立するため、青谷上寺地遺跡ボランティア講座受講生の人材活用、青谷町ガイドネットワーク等関係団体と連携しながら、ガイドの育成を図った。 ・観光ガイド体制の運用及び観光ガイドコースによるガイドの実施 青谷町ガイドネットワークによる青谷町歴史探訪ガイドコースでのガイドの実施(6件)	-	-	B.概ね達成	3.現状維持	青谷かみじち史跡公園オープンを視野に入れて、青谷地域の観光資源の観光ガイド体制を確立するため、青谷上寺地遺跡ボランティア講座受講生の人材活用、青谷町ガイドネットワーク等関係団体と連携しながら、ガイドの育成を図る。 ・観光ガイド体制の運用及び観光ガイドコースによるガイドの実施 青谷町ガイドネットワークによる青谷町歴史探訪ガイドコースでのガイドの実施 ガイドと巡る西いなば夏泊ウォーク(10/21、参加者22人) こばしまウォーキング(10/22、参加者39人) ・山陰海岸ジオパーク推進協議会、同ジオパーク拠点施設鳥取市あおや郷土館と連携して、山陰海岸ジオパークめぐりコースとして、青谷かみじち史跡公園オープンに合わせて「青谷かみじちコース(仮称)」を設定(同協議会)。また、既設の夏泊・長尾鼻コース、勝部不動滝コースでのジオガイドによるガイドの実施(前述のガイドと巡る西いなば夏泊ウォーク)。	-	-	-	-	観光・ジオパーク推進課 青谷町総合支所	15	地
	【文化財の整備・保存・活用】 【文化芸術によるまちづくりの推進】 【滞在型観光の推進】	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	R元年度で完了 JR青谷駅前広場 観光案内版移設	都市企画課 観光・ジオパーク推進課 青谷町総合支所	17	産
	・こばしまウォーキング(青谷地区) 来年オープン予定の施設を見学「青谷かみじち史跡公園コース」 11月13日(日)開催、41名参加。(新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、青谷町在住者に限定し規模を縮小して開催した) 途中のこばしま休憩が取れなかったため、ウォーキング後地域で作られたおにぎりやお菓子を配布した。	-	-	B.概ね達成	3.現状維持	・こばしまウォーキング(青谷地区)を10月22日(日)に開催した。(参加者:39人) 赤尾谷・駅前集落と今年度オープンする史跡公園周辺を見学する、「青谷かみじち史跡公園と赤尾谷駅前めぐりコース」 途中、こばしま休憩では、青谷で作られたおやつを提供した。	-	-	-	-	観光・ジオパーク推進課 文化財課 青谷町総合支所	18	地		
	②青谷高校と連携した鳥取西いなばまちづくり会社活動支援	賑わい創出と地域経済の活性化、交流人口の拡大 【商業とサービス業等の振興】	西いなば実行委員会の方針案により、青谷高校生徒からアイデアを募り、西いなば地域の素材を使った商品の開発と道の駅「気楽里」を中心に販路確保を図ることとしていたが高校からの要請で中止とした。	-	-	C.未達	5.休止、廃止、終了	-	-	-	-	廃止	青谷町総合支所	19	地
	自主防災組織の充実と連携 【地域防災力の向上】	青谷町自治連合会研修会等において、各種助成制度を周知し、自主防災会組織の訓練促進を図る。 ・鳥取市わがまち防災支援補助金等の周知と利活用推進(3団体)	-	-	B.概ね達成	3.現状維持	青谷町自治連合会研修会等において、各種助成制度を周知し、自主防災会組織の訓練促進を図る。	-	-	-	-	危機管理課 青谷町総合支所	20	地	

青谷町総合支所「鳥取市新市域振興ビジョン」推進計画 進捗チェック状況

項目名	事業概要	目標 【基本計画・施策】	R4年度(実績)				R5年度(進捗)				備考	担当課				
			実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)	目標 達成度	事業の 方向性	実施内容	予算額 (千円)	決算額 (千円)				目標 達成度	事業の 方向性	
③安心・安全なまちづくり	①各集落の自助・共助による推進で「地域を自ら守る」取組を図る。	避難行動要支援者支援制度への登録啓発(新規登録、追加登録の促進) 【地域防災力の向上】	・青谷町自治連合会研修会(R05.02文書周知)、民生児童委員協議会定例会(R04.12)等の機会を捉えて制度周知と登録勸奨依頼 ・いきいきサロンへ出前講座の案内(R04.06)を行い、希望サロンへの制度説明を実施 《参考》令和4年度末登録者数:288人	—	—	B.概ね達成	3.現状維持	・青谷町自治連合会研修会(R06.02予定)、民生児童委員協議会定例会(R06.02予定)等の機会を捉えて制度周知と登録勸奨依頼 ・社会福祉協議会と連携し、機会を捉えた制度周知と登録促進を実施 いきいきサロンへ出前講座の案内(R05.06)を実施	—					危機管理課 地域福祉課 青谷町総合支所	21	市
		ひとり暮らしの高齢者世帯へ「安心ホットライン」設置啓発 【地域包括ケアの推進】 【超高齢社会に向けたまちづくりの推進】	・青谷町自治連合会研修会(R05.02文書周知)、民生児童委員協議会定例会(R05.01)等の機会を捉えて制度周知と設置勸奨依頼 ・窓口に機器の見本を設置 《参考》令和4年度末設置者数:27人	—	—	B.概ね達成	3.現状維持	・青谷町自治連合会研修会(R06.02予定)、民生児童委員協議会定例会(R06.02予定)等の機会を捉えて制度周知と設置勸奨依頼 ・社会福祉協議会と連携し、機会を捉えた制度周知と設置促進を実施 いきいきサロンへ出前講座の案内(R05.06)を実施 ・窓口に機器の見本を設置	—					危機管理課 長寿社会課 青谷町総合支所	22	市
		高齢者・障がい者等を地域で見守り支え合うネットワークづくり 【地域包括ケアの推進】 【超高齢社会に向けたまちづくりの推進】	・ネットワーク構築の土壌づくりとして、民生委員や福祉事業所等との連携強化、地域住民を対象として健康教育や啓発等を実施 ・精神障がい者や引きこもりの方等の居場所づくりへの助言・今後の展開について検討等 ・子育て中の親と子の居場所づくりについて地域住民と一緒に検討等	—	—	B.概ね達成	3.現状維持	・ネットワーク構築の土壌づくりとして、民生委員や福祉事業所等との連携強化、地域住民を対象として健康教育や啓発等を引き続き実施 ・精神障がい者や引きこもりの方等の居場所づくりへの助言・今後の展開について検討等 ・子育て中の親と子の居場所づくりについて地域住民と一緒に検討等	—						青谷町総合支所 西地域包括支援センター	23
②地域・住民と協働し生活交通の維持確保を図る	持続可能な生活交通の維持確保 【公共交通の確保】 【交通ネットワークの充実】	・青谷地域生活交通協議会の開催 R4.8.31及びR5.1.24に開催 ・路線バスから市有償運送事業への移行に向けた具体的な実施計画の作成 小学校児童の通学手段確保のための実施計画を作成し、R4.8.31に開催した青谷地域生活交通協議会で協議・承認 ⇒R4.11.21に実施計画に基づく実証運行を実施 ・地域住民等への情報提供 青谷支所だより、市HPに情報掲載、関係団体への説明会開催 R4.8.31に青谷地域生活交通協議会で、路線バスの現在の利用状況や現状について報告 R4.9.27に青谷小学校PTA執行委員会で、路線バスの現在の利用状況や現状についてを報告	—	—	B.概ね達成	3.現状維持	・青谷地域生活交通協議会の開催 ・路線バスから市有償運送事業への移行に向けた具体的な運行計画の作成 ・地域住民等への情報提供 青谷支所だより等への情報掲載。	—						交通政策課 青谷町総合支所	24	産
		③地域防災力拠点施設の充実・強化	総合支所整備事業【地域防災力向上】 青谷町総合支所耐震設備等改修(実施設計) (耐震性能向上改修、建設設備改修(自家発電・受水槽)、バリアフリー改修、修繕更新等)	—	—	A.達成	3.現状維持	青谷町総合支所耐震設備等改修(実施設計) (耐震性能向上改修、建設設備改修(自家発電・受水槽)、バリアフリー改修、修繕更新等)	—						財産経営課 青谷町総合支所	25
④超高速情報通信基盤の整備	光ファイバーによる超高速通信網の整備 【地域情報化の推進】	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	R3年度で完了	情報政策課 青谷町総合支所	26	地
④まちづくりを支える自立した自治体経営	①公共施設の利活用	青谷上寺地遺跡展示館の利活用 旧青谷町商工会館の利活用 【魅力ある中山間地域の振興】	・青谷上寺地遺跡展示館の閉館後の施設について、まちづくりの観点から、有効な利活用方法について検討する。 文化財課とR6年度以降の展示館利用について協議 ・旧青谷町商工会館の利活用について、西商工会と連携した利活用方法、民間事業者やNPO等による団体利活用を含めた、有効利用について検討・模索する。 西商工会と情報共有し有効な利活用検討を継続する ・地域生活拠点として、駅前広場の効果的な利用について、青谷ようこそ館を含めた、一帯の将来にわたる継続的なあり方を検討する。 青谷ようこそ館の運営協力と地域特産品開発等の取組を支援する中で、駅前広場の利用とにぎわい創出に取組	—	—	C.未達	3.現状維持	・青谷上寺地遺跡展示館の閉館後の施設について、有効な利活用方法について検討を継続し、活用方法を決定する。 ・旧青谷町商工会館の利活用について、西商工会と連携した利活用方法、民間事業者やNPO等による団体利活用を含めた、有効利用について検討・模索する。 ・地域生活拠点として、駅前広場の効果的な利用について、青谷ようこそ館を含めた、一帯の将来にわたる継続的なあり方を検討する。	—					文化財課 都市企画課 農政企画課 青谷町総合支所	27	地